

都民ファーストの会 東京都議団 東京都議会議員
(江戸川区選出)

上田令子 都政 レポート [2017—夏ver.]

小池百合子新知事体制によって成果をあげる 東京大改革
～原動力は、都民ファーストの会東京都議団!～

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川4-57-12 tel&fax 03-5678-4707 ueda@ueda-reiko.com



●うえだれいこプロフィール●
台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大国文科卒。外資系生保等数社を経て起業も。結婚を機に江戸川区の夫実家にて3世代同居。2007～12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選。現在、厚生委員会副委員長、オリパラ特別委員。

平成28年以降に上田が行った質問総数は以下の通りです。

本会議での質問（2回）	30問
文書質問（本会議ごとにできる文書での質問）	187問
警察・消防委員会（所属常任委員会での質問）	31問
厚生委員会（所属常任委員会での質問）	129問
オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会（所属特別委員会での質問）	52問
平成28年予算特別委員会（予算に対する質問）	24問
平成27年度各会計決算特別委員会（決算に対する質問）	41問
合計	494問

平成25年当選以来質問総数は都議会史上過去最多級

1240問!

質問内容
詳細裏面

1 江戸川区内の保育所視察から始まった都知事選

都知事選直前の平成28年7月7日午前——當時、衆議院議員の小池百合子氏から「保育園待機児童問題について上田さんに話を聞き、あわせて保育現場の視察をしたい」との連絡が入りました。江戸川区の待機児童は都内ワースト2位。また、前知事が保育現場を訪れるることは一度もありませんでしたので、これは好機と即、区内の小規模認可保育所『にっこりハウス』を案内したところ一齊にテレビ・新聞報道がなされ、小池候補の応援に上田令子が都議会議員として“いの一番”で手を挙げた流れが生まれました。



『にっこりハウス』を視察する小池氏。
児島史篤園長＆園児とにっこり（^ ^）

保育園待機児童問題は
上田令子1丁目1番地の政策!

私は、平成6年の長男妊娠中にマタハラに遭い転職を余儀なくされました。江戸川区では公立保育園でゼロ歳児保育の実施が（いまだに）なく苦労したため、次男を授かった平成11年、母親の就労継続と再就職を支える子育て支援団体を創設。江戸川区議会に陳情するも、働く母親の立場で民間も含めた保育の拡充に理解を示す機運の醸成はなく、状況を開拓する必要性に駆られ平成19年に江戸川区議会議員に、その後、東京都議会議員となり今日に至ります。ゆえに、保育園待機児童問題は上田にとって長年の中心政策であり、後に都知事となる小池氏に江戸川区の待機児童の現状に触れてもらったことで、その後の補正予算および本予算における『待機児童解消に向けた緊急対策』を実績として都民に還元できたことは、この上もない喜びです。

2 働き方改革の見直しを願い『イクボス宣言』

上田は、保育・子育て支援政策の背景には、働き方の問題があるとかねてより勘案していました。ハラスマントがなく、その人らしい人生を送ることができる社会、職場になれば、うつ病の防止にもなります。まずは東京都から！と東京都府職員から都立病院医師に至るまで男性職員の育児休暇取得に向けて質疑を重ねたものの、都からの答弁は「…」。なかなか組織風土が変わらない状況が続きました。そこで、小池知事誕生後、私は早速「イクボス宣言」*を知事に提案。就任早々の宣言に結びつけることができました。

その後、知事は「午後8時退庁」を掲揚。職員の一人ひとりが生き生きとしていく姿を目の当たりにしています。



「イクボス」とは……
部下の仕事と生活の
両立を配慮・応援し
て組織の業績もあ
げ、自らの人生も樂
しむ上司のこと。

3 全ての都民が輝くTOKYOへ！



東京都政史上初の女性知事就任は全国的なニュースとなり、初登庁はテレビの生中継を通して多くの国民が見守るところとなりました。出迎えた女性都議が私だけだったことへの反響は大きく、地域の女性からたくさんの応援の言葉を頂戴しました。先進国の中では、女性議員の占める割合が最下位級の日本にあって、近年、女性がこれほどまでに政治に関心を

示したことはなかったのではないか？ この歴史的瞬間に立ち会えたことにさらなる使命を感じ、上田は都議会のドンに象徴される政界・官界・財界のブラックボックスによる「鉄のトライアングル」と一線を画す小池新知事と強く連帯を図り、去る1月23日に『都民ファーストの会東京都議団』として新たなスタートを切りました。その後、第一回定例会、豊洲問題における百条委員会、オリンピックパラリンピック特別委員会にあって、都議会の中でも少数精鋭ながら求心力をもって都政改革を進めております。

不一致があれば、調和をもたらしたい。
誤りがあれば、真実をもたらしたい。
疑いがあれば、信頼をもたらしたい。
そして、絶望があれば、希望をもたらしたい。

知事は、マーガレット・サッチャー元イギリス首相が語った言葉を施政方針で述べました。赤ちゃんから高齢者、男女および障がいの有無にかかわらず、誰しが自由で希望を持つことのできる明るい未来への礎となる都民ファーストの「新しい東京」の実現に向け、上田は全身全霊をかけてこれからも汗を流し、議会活動を続けてまいります。

上田令子 検索



上 田は、初当選以来、都民生活を守るため「税金の無駄遣い・不正・癒着・天下りを許さない」を旨に、改革ファーストで江戸川区選出に恥じぬ議会活動を展開してまいりました。中でも、都民の皆様がどなたでも閲覧できる議会議事録は、まさに無料で提供できる情報公開そのものと捉え、これまで1240問もの質問を議場と文書で行ってきました。その中から、東京大改革の3つのシティ「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の理念に沿った選り抜きトピックを紹介させて頂きます。



本会議質問にて

教育改革 子ども子育て支援

柔軟な発想で 保育園待機児童解消を提案

幼保一元化は区内1園と伸び悩み。小池知事体制のもと、預かり保育に対する補助拡充が実施されたこと、空きのある園には区外からも申請できることを周知徹底し、問題の早期解消を提案しました。

いじめ、部活、学校災害… 命を奪われない学校現場に!

行き過ぎた体罰・いじめによる暴力は傷害事件。学校から警察への情報提供が極端に少ないことを上田は明らかにし、学校へ指導、有事には、子どもが直ちに110番するよう周知徹底しました。

児童相談所移管実現& 都政初! 家庭養護推進へ

小1男児虐待死事件以来、都から区への児童移管を求め、江戸川で3年後実施へ！あわせて、施設中心だった要保護児童対策を指摘、知事の「養育家庭をはじめとした里親制度の活用を中心」の確約を得ました。

安全安心の まちづくり

DV・ストーカー対策強化を 警察消防委員会で要望

一般質問により人身安全関連総合対策本部早期発足を促したもの、小金井刺傷事件が発生し、委員会で対策強化を実現させました。

代金払って備蓄なし 災害時燃料問題を是正

備蓄されていなかった災害時燃料備蓄を指摘。適正管理に結び付け、ことに消防車両は救命最優先での消防法運用と燃料確保の徹底を実現。

ママの声を受け防災ブックへ 乳幼児対策を反映

乳幼児を抱えての避難や救護、個人備蓄法など母親対象情報提供を一般質問で求め、防災ブック「東京防災」へ反映させました。今後は女性向けブック作成に注力します。

『防災ママカフェ』を開催し、防災食品を試しながらアイデアを出していただきました。

行財政改革

膨らむ福祉費を鑑み 約6兆円の借金を情報公開

財務実態の公表で、都へ福祉保健費と都債残高の推移に留意する動機づけをし、健全財政の確保を促進。

談合情報検討委員会を機能させ 入札制度見直しへ

談合が疑われる情報を財務局へ確認。即日委員会が立ち上がり事なきを得ました。以後、質疑を続け、一者入札の中止等入札制度改革に結び付けました。

働きやすい都庁の 組織風土醸成を提言

5年間で二桁台の都職員自殺を憂慮し、イクボス宣言はじめ風通しの良い環境を知事に求め、働き方改革・職員目安箱の設置・8時退庁が実現へ。

環境を守り無駄の排除を! カヌースラローム競技場移転問題

江戸川区、地域住民とともに都へ働きかけ、海側から遊休地へ移転に。現在、後利用について年間収支赤字1.9億円の圧縮を求めています。

議員・議会改革

議員特権!? 費用弁償廃止 議員報酬2割カットへ

条例提案しても都議会自民党に阻まれ先送りになっていた議員報酬カットと、公務登庁に1万円が支払われる費用弁償廃止を粘り強く実現。

現金支給の費用弁償の4年間総計は約174.4万円!
上田は全額供託。

都議団の 豪華絢爛リオ視察を中止へ

ゴージャス視察を行っていた舛添前知事同様、積算根拠がずさんな総額6千2百万円の都議団視察内訳を上田が情報公開。追い込まれた宇田川さとし議会運営委員長（当時）は、中止の発表をせざるを得なくなりました。

ベールに包まれた公用車使用 トップは自民党都議団! 廃止を求めます

決算審査では、集計できないと議会局が出し済っていた利用実績を資料要求。自民党は、年間3,112回、都議会全体の7割で、一人当たりでも断つツトッピングで利用している事實を上田が明らかにしました。議員特権そのものの議会公用車は全面廃止に向けて今後尽力します。

命・人権ファーストの 福祉・医療施策の実現

虐待放置理事長交代へ! 障がい者虐待防止を徹底推進

14年間も虐待が放置されてきた西東京市の障がい者施設「たんぽぽ」に対し、上田の追及にて行政処分が下りました。虐待防止研修規模を200人から550人に拡大し、再発防止の取り組みを充実。

全国初劣悪猫カフェ登録取り消し! 動物愛護政策を推進

頭数管理されず感染症蔓延寸前の猫カフェ情報を入手し福祉保健局に徹底検証要請。行政処分につなげ、動物愛護につき「2020年までに、殺処分ゼロを目指す」との知事宣言を獲得。

製薬会社から年350万円 都立病院顧問医を退陣に追い込み 新聞報道に

H28.3.10『東京新聞』朝刊

日本発達障害ネットワーク 理事長でもある小児医療総合センターの顧問医が、製薬会社から報酬を受け取りながら、公務員の義務である総額700万円分の利益相反自己申告をしていなかったことを指摘し退職。都も認めた「子どもには投薬以外を第一」を徹底させます！

公営市場のあり方につき いち早く指摘

中央卸売市場の税金(一般会計補助金)による営業損失補てんと、仲卸の経営状況につき質疑を続け、「市場のあり方戦略本部」発足に貢献。

高級公用車がズラリと並ぶ都議会地下駐車場

都議選日程が確定

東京都選挙管理委員会は任期満了に伴う都議選の日程を決定しました。

6/23 告示 金

7/2 投開票 日

皆様の声 をお寄せ下さい！

都政 レポート 2017. 夏号
発行人／上田令子(東京都議会議員・江戸川区選出)
〒132-0033 東京都江戸川区東小松川4-57-12
Tel & Fax : 03-5678-4707 mail : ueda@ueda-reiko.com